

☆貝取・豊ヶ丘の地域の活動・情報紹介

きっちん空 🏠 貝取1-47-9 ☎ 042-316-9927

NPO法人どんぐりパンが運営している食堂です。
お弁当・軽食の販売の他、子ども食堂やフードパントリーの活動をしています。
子ども食堂の活動では、コロナの影響もあり、集って食事をする活動ができていませんが、お菓子や軽食の無料配布という形で継続をしています。
地域の皆さんからの寄附のご協力もいただいています。もしご家庭で余っている賞味期限の長い食材・未使用の学習用品などありましたらご協力ください。ボランティアの方も募集中です！



とよよん 🏠 豊ヶ丘4-2-5-107 ☎ 042-373-5616 (多摩社協)

社会福祉法人 楽友会が運営・多摩市社会福祉協議会が運営協力し、地域のとよよんサポーターさんが中心となって活動しています。
月・水・金 10時～15時に開所し、ちくちく、トランプ、ミュージックベル、おりがみなど。様々な企画を実施しながら活動しています！



現在、とよよんのサポーターとして終活のおしゃべり会、囲碁始めてみませんかなどのお手伝いをしています。ぜひ、気軽に立ち寄ってください！



サポーターの山田さん

市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館 🏠 貝取1-26-1 ☎ 042-400-7723

旧北貝取小の跡地に令和4年4月から「市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館」がオープンしました！
この施設は、部屋の貸出しや各種講座等を実施する「市民活動・交流センター」と、文化財の収蔵・展示を行う「多摩ふるさと資料館」からなる複合施設です。
部屋は1時間単位での貸出しとなっており、地域での交流を図るための交流スペースやカフェも設置されています。ぜひ、地域での集まり等、ご活用ください！！



多摩市立市民活動・交流センター
多摩市立多摩ふるさと資料館

多摩市若者会議 (合同会社 Michi Lab) ★<https://www.michilab.co.jp>



多摩市若者会議は2017年に多摩市役所の事業からスタートしました。
地域の魅力づくりの為、様々な取り組みを行っています。ぜひご参加ください
【貝取・豊ヶ丘地区での活動例】
・多摩BOOKさんぽ開催 (日本総合住生活(JS)と共催)
・ランタンフェスティバル運営協力(フォトコンテスト等の開催)
・フィールドワーク(街歩き)の開催
・街なか清掃プロジェクトの開催

3/26(土)「街なか清掃プロジェクト」では豊ヶ丘5丁目の医者村橋・児童館前の遊歩道の洗浄を行いました。子供8名を含む30名が参加し、高圧洗浄機も使い楽しく洗浄しました。

ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな

「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」は、貝取と豊ヶ丘の地域に関わる活動をしている人々を結び、それぞれの経験・知識・情報を共有することによって、地域の様々な課題の解決を支援する誰でも参加可能なネットワークです。

全体会(定例): 奇数月第2土曜日 10:00~12:00

貝取こぶし館ホール など

※次回の開催につきましては約1カ月前に通知にてお知らせいたします。

きずな通信 第5号



編集: ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな
発行: 2022年4月
事務局: 多摩市社会福祉協議会
TEL 042-373-5616
MAIL nw-kizuna@tamashakyo.jp

～ここで暮らせる貝取・豊ヶ丘～明日につなげる地域づくり～

きずなの歩み

2011年 きずな発足

認知症になって
も住み続けられ
るといいよね...

認知症サポーター
養成講座

防災まち歩き
クロスロードゲーム

団地で取り組め
たらいいけど
個人情報...

支え合いとプライバシー

緊急時いつでも
使える見守り
の仕組みを考え
よう

防災の点では
どう???

避難所運営ゲーム(HUG)

貝取・豊ヶ丘には
どんな居場所など
があるだろう

園芸とコミュニティ

地域にある小学校
と大学とでなにか
できないかな

LODE
(子ども・お年寄り・障がいのある
方も一緒に避難する方法をシミュ
レーションする図上訓練)

貝取・豊ヶ丘
地域資源マップ作り

より貝取・豊ヶ丘
にあった形で考
えられたら...

72時間ゲーム

これからも
暮らしやすい貝取・
豊ヶ丘を目指して

～武内代表よりご挨拶～

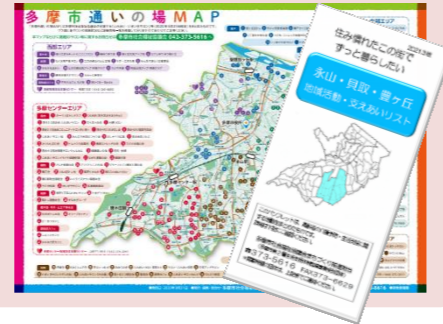
きずなの10年。災害に見舞われ続けた日本。高齢化の中の貝取・豊ヶ丘。きずなは「ここで暮らし続ける」を目指し、多くの方々と手を携えながら地域の課題に向き合ってきました。一定の役割を担っているとの思いはありますが、道半ばです。今後もみなさんのご協力の下、地域づくりに関わっていきます。

令和3年度 ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな 活動報告

令和3年度のネットワーク貝取・豊ヶ丘きずなでは、コロナ禍での活動実施のため、オンラインを併用する形で全体会を進めました。市内の感染拡大状況を鑑み、9月・1月の開催は見合わせ、全4回の実施となりました。

第1回「地域を知ろう コロナ禍での地域活動の工夫」 令和3年5月29日(土)

貝取・豊ヶ丘の地域の活動の情報など共有し、各自治会・住宅管理組合、サロン、企業などそれぞれコロナ禍での地域活動をどう工夫しているか情報交換をしました。



(参加者感想)
各地区の高齢化等々の状況、活動内容がよく理解できました。今後の組合の活動につなげていきたいです

第2回「防災と見守り」 令和3年7月10日(土)



多摩市役所防災安全課 西野さんと豊ヶ丘4・6丁目自主防災会 市村さんに、多摩市内の防災や見守りについてお話をいただきました。

コロナ禍において避難所は決して安全な場では無く、在宅避難を第一に考えることが望ましい状況です。各自3日～1週間分の備蓄の用意があると良いそうです。

豊ヶ丘4・6丁目自主防災会では、避難行動要支援者の発災時の避難支援の方法の個別計画を作成されています。対象者の転居、逝去や計画作成を希望されないなどの理由もあり、現在は32世帯の計画作成をされているとのことでした。



(参加者感想)
個別計画のことについて市や自主防災会の方からお話を聞いたのは良かった。
要配慮者支援問題が共通の課題と感じました。

第4回「令和3年度の振り返り・地域での支えあい」 令和4年3月12日(土)

年度の振り返りと共に、団地単位での見守りの仕組みについて情報交換をしました。

事例として、豊ヶ丘3-3団地管理組合 佐藤さんに防災の取り組みに合わせ、希望の方のお宅へご様子伺いで訪問する「声掛け隊」についてお話を伺い、各団地での取り組みについても情報交換を行いました。



(参加者感想)
個人情報への壁もあり、新しいことへ取り組むことへの大変さを感じました。

第3回「災害対応図上訓練 72時間ゲーム」 令和3年11月20日(土)

多摩市立青陵中学校の体育館を会場に、6グループに分かれ「72時間ゲーム」を実施しました。各イベントの発生内容は同じものの対応の仕方はグループで異なり、それぞれ活発に意見交換されていました。青陵中の生徒さんにも参加の呼びかけをし、2名が参加。日頃からの顔と名前の知っている関係づくり、コロナ禍での発災時の集会所の活用、団地内だけでなく団地間での連携などの必要性が振り返られました。



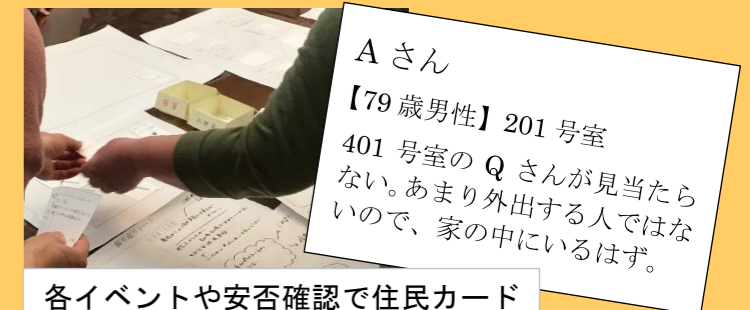
(参加者感想)
災害時の行動を再確認しました
よく考えられていた実践的なゲームでした

あなたのお住まいの地域でも『72時間ゲーム』をやってみませんか？

「72時間ゲーム」とは、発災後の避難所が立ち上がるまでの72時間の対応を図上訓練として体験し、日頃からのご近所同士のつながりづくりの大切さや貝取・豊ヶ丘の地域性に合った助け合いや見守りの仕組みについて、改めて考えるための取り組みです。

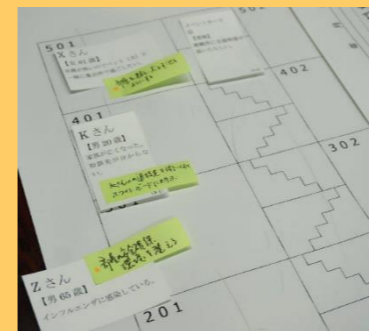


グループは同じ団地に住み、集会所に集まったメンバーです



各イベントや安否確認で住民カードをめくり、対応を検討します

Aさん
【79歳男性】201号室
401号室のQさんが見当たらない。あまり外出する人ではないので、家の中にいるはず。



対応した内容は記録用紙や付箋に記録していく。
最後にグループで振り返り。

72時間ゲームについて、今後も改良を検討しています。そのためにも、体験してくれる方々を募集しています。ぜひ、ご相談ください。

▼問い合わせ 多摩市社会福祉協議会 まちづくり推進担当
☎042-373-5616 ✉nw-kizuna@tamashakyo.jp

72時間ゲーム紹介動画

